

2025年度 第1四半期 決算説明会

2025年7月30日
株式会社村田製作所

2025年度 第1四半期 ハイライト・トピックス

代表取締役社長 中島規巨

2025年度 第1四半期実績

売上収益 4,162億円

- ・ 前年同期比で▲1.3%減収。AIサーバー関連の部品需要は堅調であったが、スマートフォン向けで高周波モジュールや樹脂多層基板を中心に需要減となった。為替影響除きで+4.7%増収。
- ・ 上半期の売上予想に対して、進捗率は50%程度と高水準。想定比で円安に推移したこと、スマートフォンやPCを中心に各国の関税政策を踏まえた旺盛な部品需要に対応したことが主要因。

営業利益 616億円

- ・ 前年同期比で▲7.2%減益。為替影響除きで+12.0%増益。操業度益が増益要因として寄与。
- ・ 上半期の利益予想に対して進捗率は53%程度。売上同様に高水準という見方。

2025年度 通期見通し

- ・ 通期業績予想および配当予想は、前回（4月30日）の公表値を据え置く。
- ・ 関税政策等の影響による消費動向の変化もあり、上期偏重の部品需要が見込まれる。

電池事業の収益改善に向けて

- 第1四半期での四半期黒字化を実現、通期の黒字化達成に向けて着実に取り組みを進める。
- マイクロ一次電池事業の事業譲渡を決定。円筒形リチウムイオン二次電池に経営資源を配分し注力していくことで競争優位性を高め、さらなる事業拡大を目指す。



トピックス（2/3）： AIデータセンターにおける当社の事業機会

市場トレンド

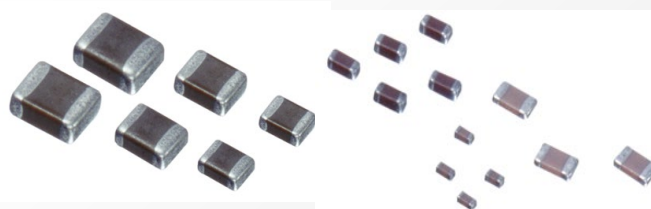


- AI技術の進歩・データ処理量の増加にともない、社会インフラとしてのAIデータセンター需要が増加。
- 構成するハードウェアの高性能化による周辺部品の需要・ニーズが発生。
- 膨大な電力消費と熱問題への対応が求められる。

当社が貢献できること

積層セラミックコンデンサ

小型大容量、高温・高電圧対応、
高信頼性



リチウムイオン二次電池

高品質、高信頼性



インダクタ・EMIフィルタ

小型・高性能、低損失・大電流対応、
高信頼性



電源モジュール

高効率・高電力密度・高放熱設計、
トータル電源ソリューション



トピックス（3/3）： 中長期的視点での投資戦略を実行

出雲、フィリピンでの新生産棟の建設



出雲村田製作所

- ・総投資額：約470億円
（建物、生産設備含む）
- ・竣工予定：2026年3月



Philippine Manufacturing Co. of Murata

- ・総投資額：約112億円
（建屋のみ）
- ・竣工予定：2025年9月

中長期的な部品需要拡大に対応する生産能力増強や
サプライチェーンの複線化を進める

セラミックコンデンサ研究開発センターの設立



- ・総投資額：約350億円
（土地・建物費用のみ）
- ・竣工予定：2026年1月

研究開発に特化した最先端の環境を整備し、
ハイレベルな研究開発業務および技術者の育成を実現

守山イノベーションセンターの設立



- ・総投資額：約460億円
（土地・建物費用のみ）
- ・竣工予定：2026年12月

研究開発機能の拡充と外部連携の強化
によるイノベーションの推進

米国でのCVC新設



- ・投資予定額：5,000万米ドル規模
- ・設置時期：2025年4月
- ・投資領域：次世代通信/6G、光・半導体、生体エレクトロニクス、環境、ロボティクス、スペース

2025年度 第1四半期 業績概要および事業概況

2025年4月～2025年6月
第1四半期連結累計期間

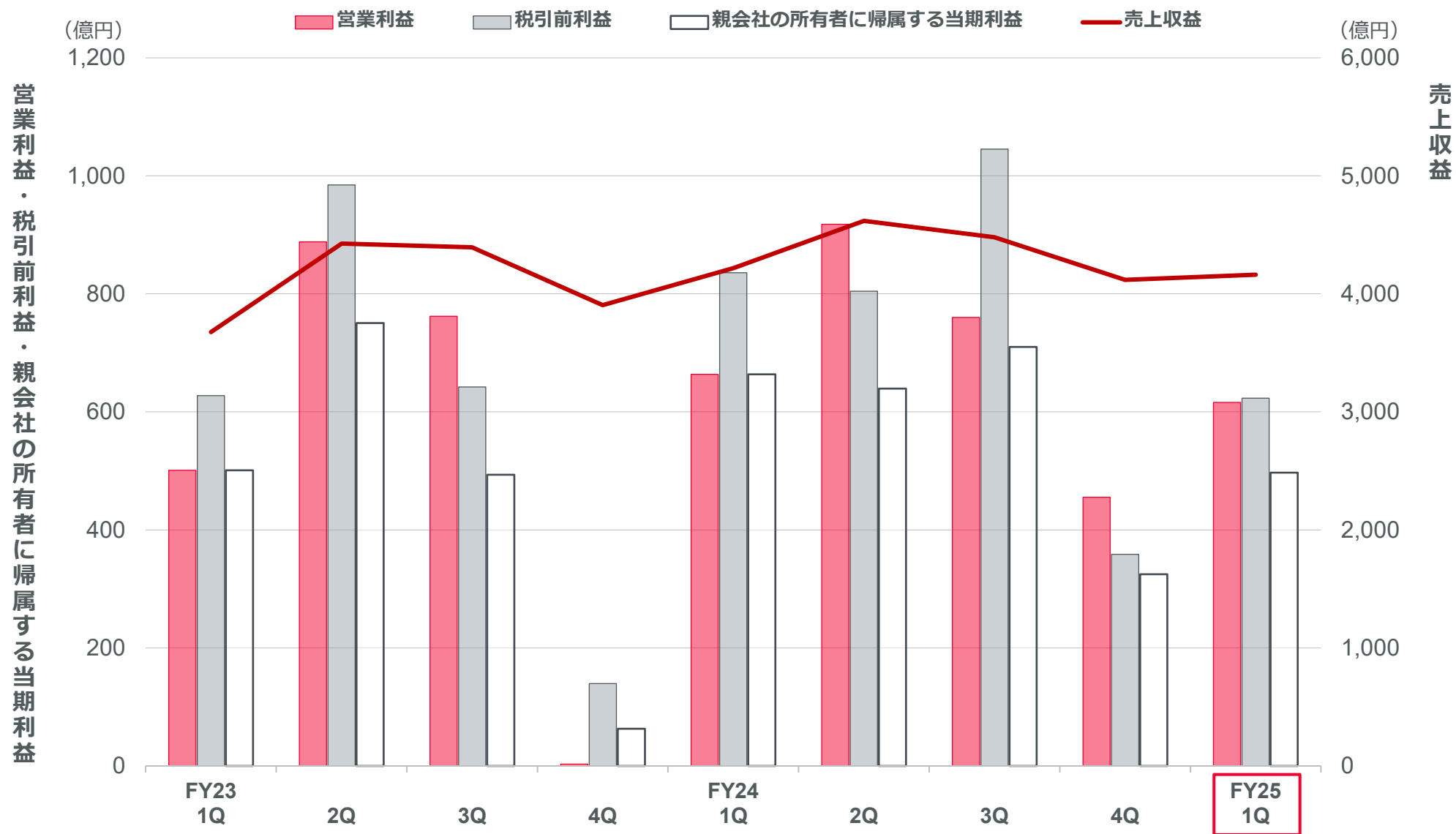
代表取締役副社長 南出雅範

前年同期比

- 売上収益は、コンデンサがサーバー向けで増加したが、高周波モジュールや樹脂多層基板がスマートフォン向けで、リチウムイオン二次電池がパワーツール向けで減少した。為替レートが円高に進んだこともあり、全体として減収となった。
- 営業利益は、操業度の回復やコストダウンといった増益要因に対し、製品価格の値下がりや円高の進行等の減益要因により減益（一時収益・費用の内訳はP.15参照）。

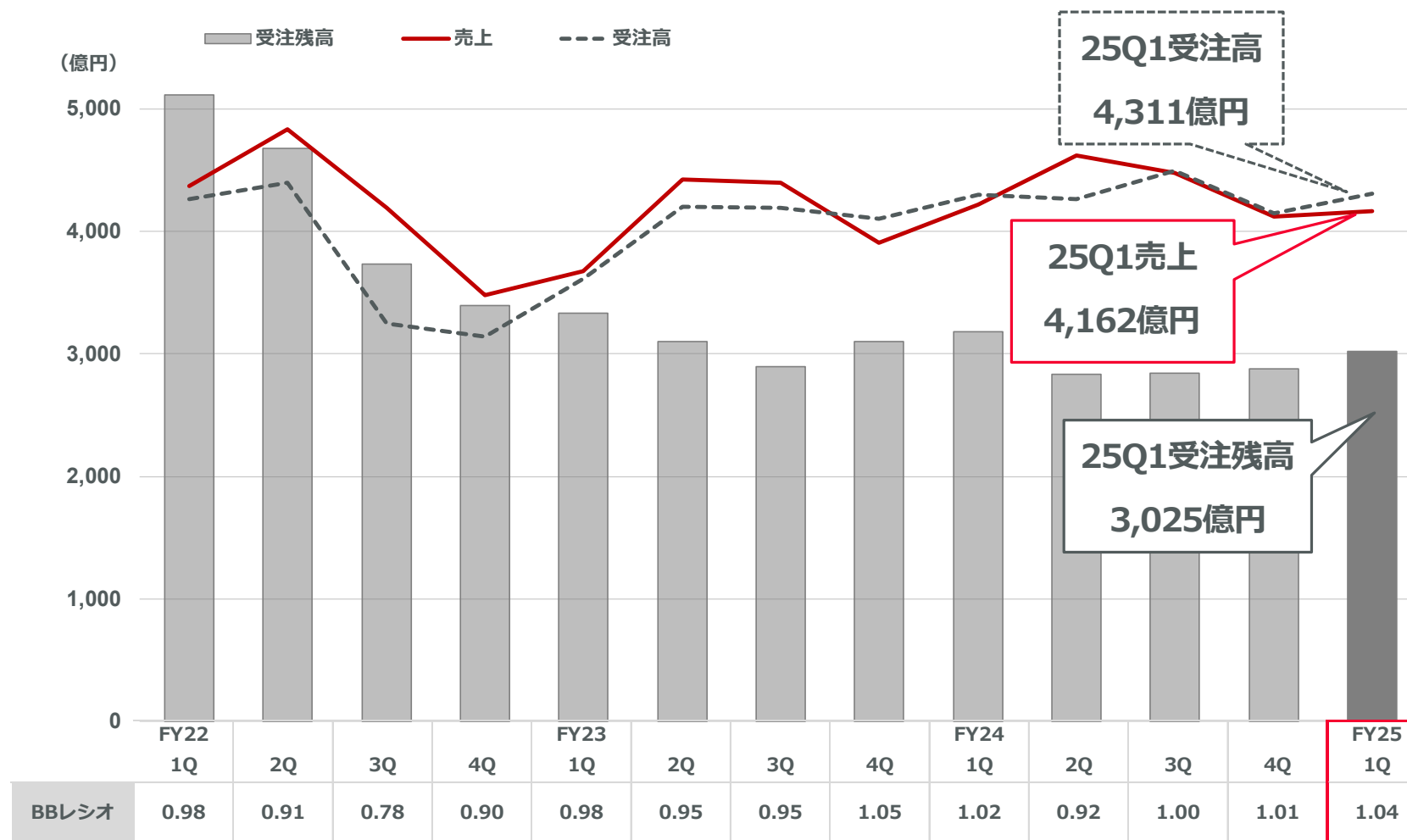
	2024年度 第1四半期		2024年度 第4四半期		2025年度 第1四半期		前年同期比			直前四半期比			
	25Q1／24Q1		為替影響		為替影響除き		25Q1／24Q4						
	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(億円)	(%)	(億円)	(%)		
売上収益	4,217	100.0	4,119	100.0	4,162	100.0	▲56	▲1.3	▲254	+198	+4.7	+43	+1.0
営業利益	664	15.7	455	11.1	616	14.8	▲48	▲7.2	▲127	+79	+12.0	+161	+35.3
税引前利益	836	19.8	358	8.7	623	15.0	▲212	▲25.4				+265	+73.9
親会社の所有者に 帰属する当期利益	664	15.7	325	7.9	497	11.9	▲167	▲25.1				+172	+53.0
為替 (円/USD)	155.89		152.61		144.60		※対ドル為替感応度(1円変動/年) 売上収益：約90億円 営業利益：約45億円						

業績推移（四半期）



売上・受注・注残推移（四半期）

- 受注高は円高進行はあったものの、前年同期比および直前四半期比ともに増加。
- コンデンサを中心に、サーバー向けの需要が堅調。



(注) 受注高=売上+当四半期受注残高-前四半期受注残高 受注残高は、各四半期末日時点の為替レートに基づき算出。
 ※対米ドル為替レート 2024年6月末：161.14円、2025年3月末：149.53円、2025年6月末：144.82円

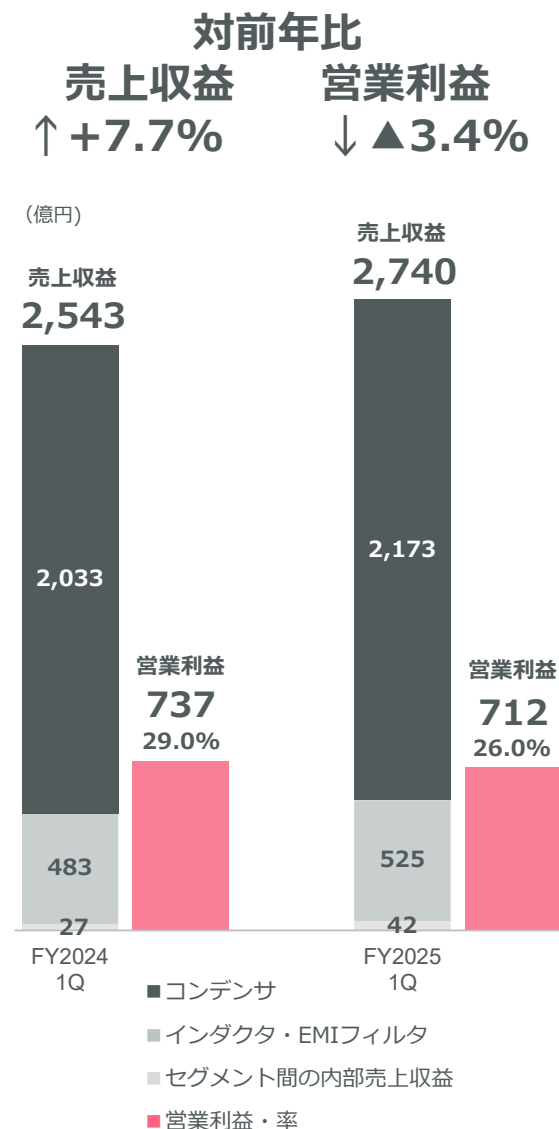
事業別セグメント売上収益

	2024年度 第1四半期		2024年度 第4四半期		2025年度 第1四半期		前年同期比 25Q1／24Q1		直前四半期比 25Q1／24Q4	
	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
コンデンサ	2,033	48.2	2,014	48.9	2,173	52.2	+140	+6.9	+159	+7.9
インダクタ・EMIフィルタ	483	11.4	487	11.8	525	12.6	+42	+8.7	+38	+7.7
高周波・通信	993	23.6	971	23.6	821	19.7	▲173	▲17.4	▲150	▲15.4
エナジー・パワー	426	10.1	374	9.1	358	8.6	▲69	▲16.1	▲16	▲4.3
機能デバイス	252	6.0	241	5.8	248	6.0	▲4	▲1.6	+7	+3.0
その他	29	0.7	32	0.8	37	0.9	+8	+26.0	+5	+16.6
売上収益計	4,217	100.0	4,119	100.0	4,162	100.0	▲56	▲1.3	+43	+1.0

セグメント別概況ーコンポーネント [2024年度1Q→2025年度1Q]

売上収益	コンデンサ (前年同期比+ 6.9%)	○積層セラミックコンデンサ (MLCC) サーバー向けで増加
	インダクタ・EMIフィルタ (前年同期比+ 8.7%)	○インダクタ モビリティやサーバー向けで増加 ○EMI除去フィルタ サーバー向けで増加

営業利益	生産高の増加に伴う操業度益に対して、製品価格の値下がりや円高の進行もあり前年同期比で減益。 ※比較には2024年度1Qに発生した一時収益の影響が含まれております。
------	---



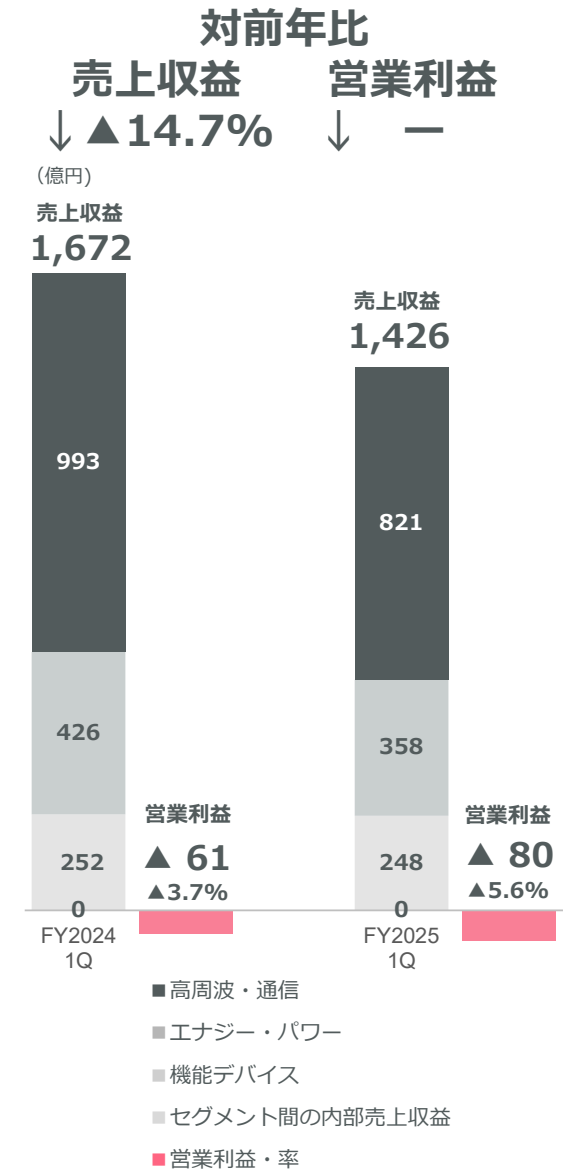
セグメント別概況ーデバイス・モジュール [2024年度1Q→2025年度1Q]

売上収益	高周波・通信 (前年同期比▲17.4%)	▲高周波モジュール スマートフォンやPC向けで減少 ▲樹脂多層基板・表面波フィルタ スマートフォン向けで減少
	エナジー・パワー (前年同期比▲16.1%)	▲リチウムイオン二次電池 パワーツール向けで減少
	機能デバイス (前年同期比▲1.6%)	▲センサ モビリティ向けで減少

営業利益

円高の進行に加え、売上減少に伴う高周波・通信の収益性悪化により、前年同期比で赤字拡大。

※比較には2024年度1Qに発生した一時費用の影響が含まれております。

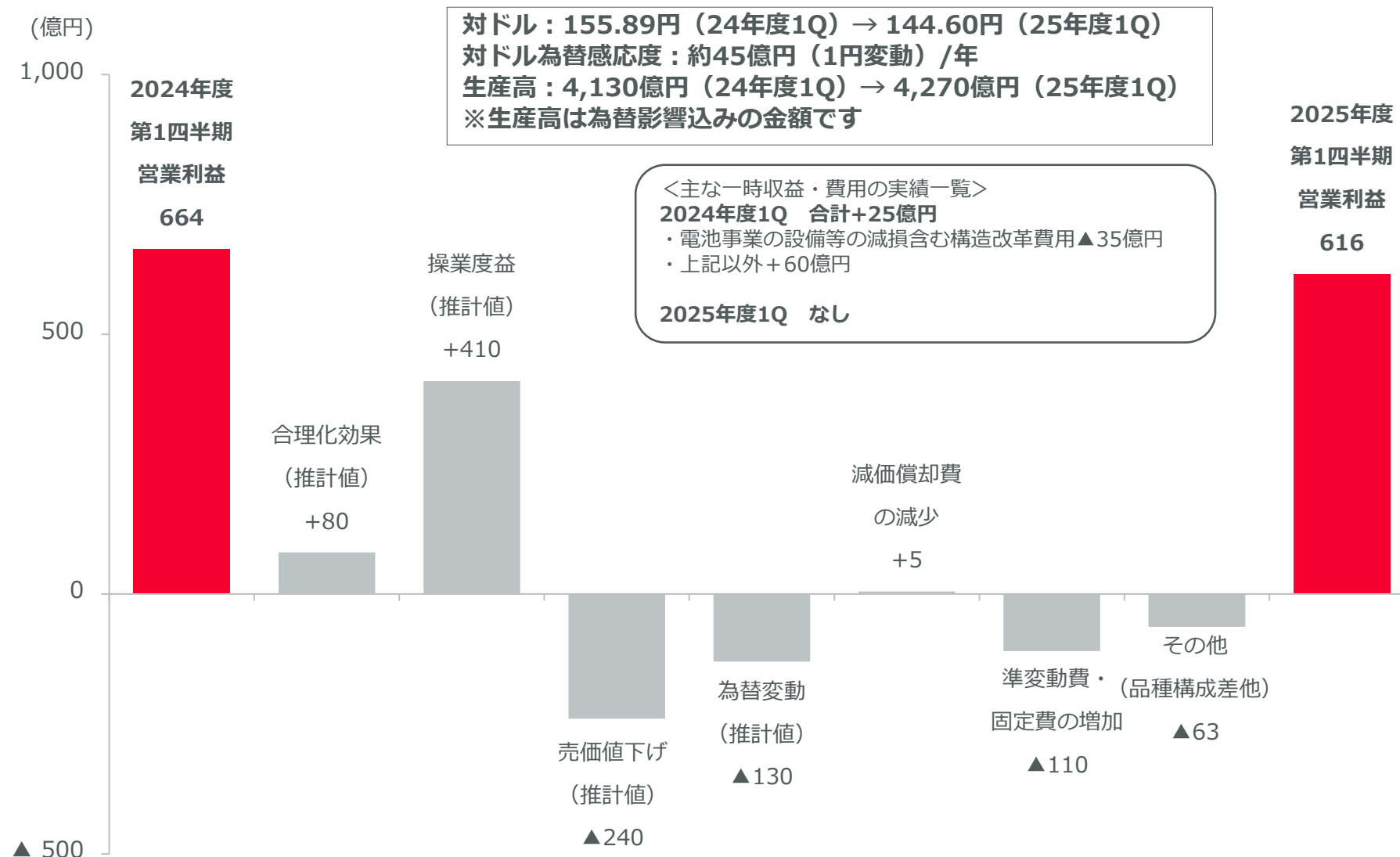


用途別売上収益

	2024年度 第1四半期		2024年度 第4四半期		2025年度 第1四半期		前年同期比 25Q1／24Q1		直前四半期比 25Q1／24Q4	
	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
通信	1,549	36.7	1,481	36.0	1,376	33.1	▲173	▲11.2	▲106	▲7.1
モビリティ	1,150	27.3	1,106	26.8	1,133	27.2	▲16	▲1.4	+28	+2.5
コンピュータ	572	13.6	590	14.3	700	16.8	+128	+22.4	+109	+18.5
家電	390	9.3	348	8.4	368	8.9	▲22	▲5.6	+21	+5.9
産業・その他	557	13.1	593	14.5	585	14.0	+28	+5.0	▲9	▲1.5
売上収益計	4,217	100.0	4,119	100.0	4,162	100.0	▲56	▲1.3	+43	+1.0

(注) 当社推計値に基づいております。なお、2025年度よりビジネスの実態に合わせて用途別の売上収益区分の集計範囲を変更しております。
増減比較のため、2024年度実績を変更後の区分に組み替えて表記しております。

利益変動要因 [2024年度1Q→2025年度1Q]

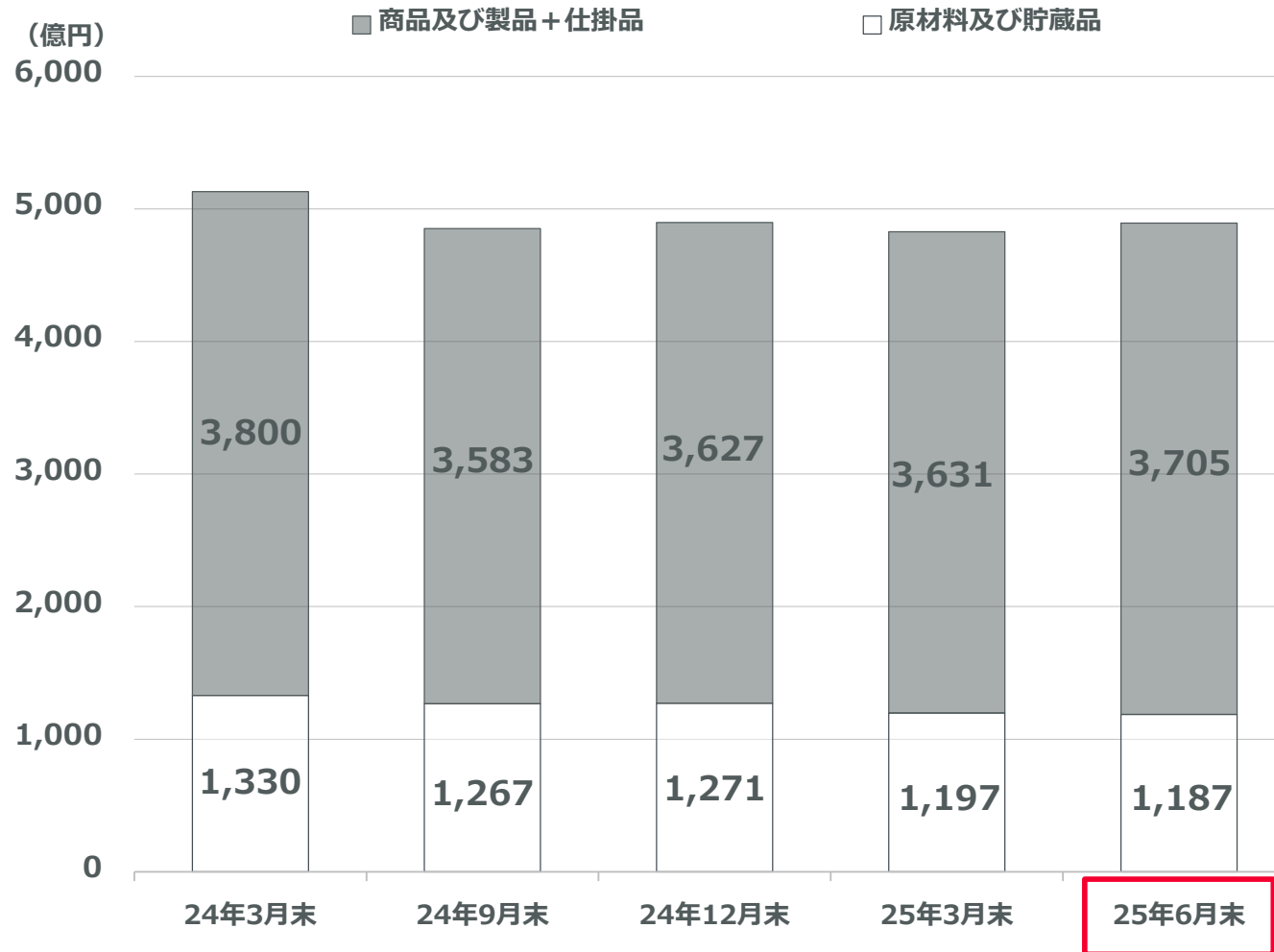


※操業度損益は売価値下げ・為替変動の影響を除いた生産高をもとに計算しております。

※その他(品種構成差他)には、2024年度 第1四半期に発生した一時収益・費用の影響が含まれております。

棚卸資産の状況

- 2025年6月末の棚卸資産は、前四半期末比で+64億円増加、期末為替レートが円高に進行したことによる影響を除くと、同+79億円程度の増加。
- 2Q以降のスマートフォンの季節性に向けて、高周波・通信の在庫積み増しを実施。



キャッシュフロー

- 前年同期比で減益となったことに加えて棚卸資産が増加したことから、営業活動によるキャッシュフローは減少した。
- 財務活動によるキャッシュフローには前年同期に続き、自己株式取得および配当金支払が含まれている。

	2024年度 第1四半期 (億円)	2025年度 第1四半期 (億円)	増減 (億円)
営業活動によるキャッシュフロー	585	400	▲185
投資活動によるキャッシュフロー	▲ 616	▲ 336	+280
財務活動によるキャッシュフロー	▲ 1,037	▲ 960	+77
為替変動による影響	224	▲ 160	▲384
現金及び現金同等物の残高	5,376	5,196	▲181
フリーキャッシュフロー	▲ 31	64	+95
固定資産の取得による支出	▲ 571	▲ 478	+93
減価償却費及び償却費	424	420	▲5

2025年度 業績予想

2025年4月～2026年3月

2025年度 業績予想

- 通期業績予想は、売上・利益ともに前回（4月30日）の公表値を据え置く。
- 7月時点で通期の需要セット台数に大きな変化は見られないが、各国の関税政策等の影響による消費動向の変化もあり、上期偏重の部品需要が見込まれ、下期に反動減のリスクを織り込む。

	2024年度		2025年度				前期比	
	実績		上期予想	下期予想	通期予想		前期比	
	(億円)	(%)	(億円)	(億円)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
売上収益	17,434	100.0	8,300	8,100	16,400	100.0	▲1,034	▲ 5.9
営業利益	2,797	16.0	1,170	1,030	2,200	13.4	▲597	▲ 21.3
税引前利益	3,044	17.5	1,220	1,080	2,300	14.0	▲744	▲ 24.4
親会社の所有者に 帰属する当期利益	2,338	13.4	940	830	1,770	10.8	▲568	▲ 24.3
ROIC(税引後) (%)	10.0				7.8		▲ 2.2	
為替 (円/USD)	152.57				140.00		※対ドル為替感応度(1円変動/年) 売上収益：約90億円 営業利益：約45億円	

4月時点の業績予想前提

売上

- AIデータセンター向けの部品需要は引き続き堅調
- xEV比率の上昇およびAD/ADASの進展による1台当たりの所要数や高機能部品需要は増加
- ハイエンドスマートフォンの前倒し取込に対する反動減影響：通期で▲150億円程度
- パワーツール市場は実需見合い
- 製品価格の値下がりは継続
- 通期前提為替レート：140円/USD

生産

- 為替変動影響除きで生産高は増加する計画
- コンポーネントを中心に今後の需要増に備えた在庫積み増しを計画

費用

- 操業度の上昇に伴う生産関連費用の増加
- 人的資本投資やDX関連費用等経費支出の増加
- 次年度以降の当社製品採用・シェア拡大に向け、必要な投資を実行

7月時点の現状認識

- 1Q実績はスマートフォンやPCを中心に想定比上振れ、通期の市場見通しは変更なし。
- AIデータセンター向けの部品需要は堅調維持
- AD/ADAS進展等、モビリティ向け部品需要の増加トレンドは不変
- 2Q以降の前提レートは140円/USD据え置き
- 2Qはスマートフォンの季節性により在庫減
- コンポーネントは2Q以降も高い操業度を継続し、生産数量を高めていく計画
- 中長期視点での投資計画に変更なし

当資料に記載されている、当社又は当社グループに関する見通し、計画、方針、戦略、予定、判断などのうち既に確定した事実でない記載は、将来の業績に関する見通しです。将来の業績の見通しは、現時点で入手可能な情報と合理的と判断する一定の前提に基づき当社グループが予測したものです。実際の業績は、さまざまなリスク要因や不確実な要素により業績見通しと大きく異なる可能性があります、これらの業績見通しに過度に依存しないようにお願いいたします。また、新たな情報、将来の現象、その他の結果に関わらず、当社が業績見通しを常に見直すとは限りません。実際の業績に影響を与えるリスク要因や不確実な要素には、以下のものが含まれます。(1)当社の事業を取り巻く経済情勢、電子機器及び電子部品の市場動向、需給環境、価格変動、(2)原材料等の価格変動及び供給不足、(3)為替レートの変動、(4)変化の激しい電子部品市場の技術革新に対応できる新製品を安定的に提供し、顧客が満足できる製品やサービスを当社グループが設計、開発し続けていく能力、(5)当社グループが保有する金融資産の時価の変動、(6)各国における法規制、諸制度及び社会情勢などの当社グループの事業運営に係る環境の急激な変化、(7)偶発事象の発生、などです。ただし、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

当資料に記載されている将来予想に関する記述についてこれらの内容を更新し公表する責任を負いません。

Thank you

補足

連結財政状態計算書

(単位：億円)

	2025年 3月期末	2025年 6月期末	増減
現金及び 現金同等物	6,251	5,196	▲1,056
営業債権	2,944	2,909	▲35
棚卸資産	4,828	4,892	+64
その他の流動資産	955	1,079	+124
流動資産合計	14,979	14,076	▲903
有形固定資産	11,837	11,758	▲80
使用権資産	642	638	▲4
のれん	1,357	1,333	▲25
その他の 非流動資産	1,466	1,523	+57
非流動資産合計	15,303	15,252	▲51
資産合計	30,282	29,328	▲954

	2025年 3月期末	2025年 6月期末	増減
社債及び借入金	24	25	+1
営業債務	696	678	▲19
その他流動・ 非流動負債	3,762	3,444	▲317
負債合計	4,482	4,147	▲335
親会社の所有者に 帰属する持分合計	25,808	25,190	▲618
非支配株主持分	▲8	▲10	▲1
資本合計	25,800	25,181	▲619
負債及び資本合計	30,282	29,328	▲954

(単位：円)

期末日為替レート	2025年 3月期末	2025年 6月期末	差
為替 (円/USD)	149.53	144.82	4.71 円高

事業別セグメント売上収益概況 [2024年度4Q→2025年度1Q]

コンデンサ (直前四半期比+7.9%)	○積層セラミックコンデンサ（MLCC） サーバー、スマートフォン、モビリティ向けで増加
インダクタ・EMIフィルタ (直前四半期比+7.7%)	○インダクタ スマートフォン向けで増加
高周波・通信 (直前四半期比▲15.4%)	▲樹脂多層基板・高周波モジュール スマートフォン向けで減少
エナジー・パワー (直前四半期比▲4.3%)	▲電源モジュール 産業機器向けで減少
機能デバイス (直前四半期比+3.0%)	○センサ モビリティ向けで増加

用途別売上収益概況 [2024年度1Q→2025年度1Q]

通信 (前年同期比▲ 11.2%)	▲ スマートフォン向けで高周波モジュールや樹脂多層基板が減少
モビリティ (前年同期比▲ 1.4%)	○ 自動車向けでインダクタが増加 ▲ 自動車向けでコンデンサやセンサが減少
コンピュータ (前年同期比+ 22.4%)	○ サーバー向けでコンデンサが増加 ▲ PC向けで高周波モジュールが減少
家電 (前年同期比▲ 5.6%)	▲ パワーツール向けでリチウムイオン二次電池が減少
産業・その他 (前年同期比+ 5.0%)	○ 代理店や産業機器向けでコンデンサが増加

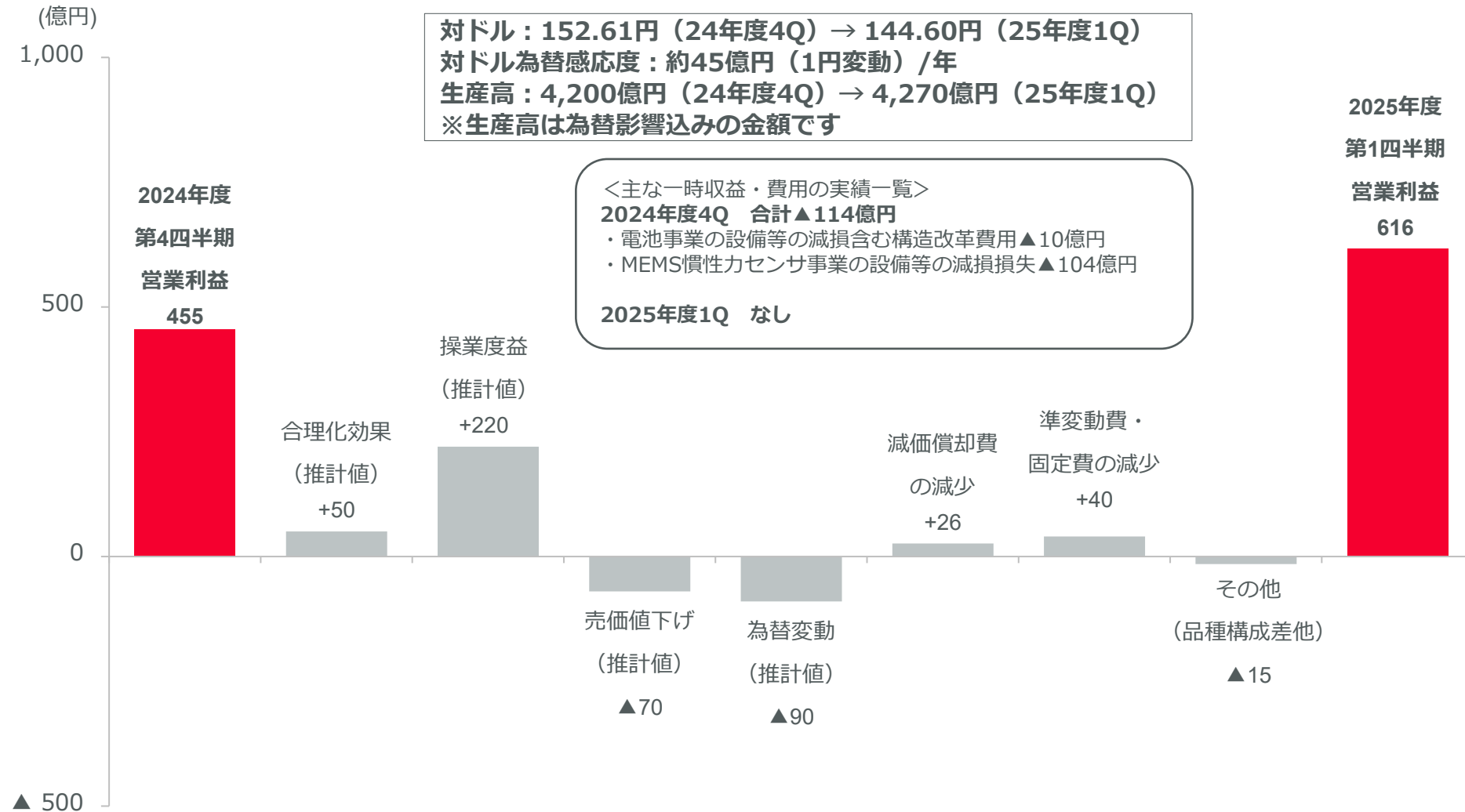
(注) 当社推計値に基づいております。なお、2025年度よりビジネスの実態に合わせて用途別の売上収益区分の集計範囲を変更しております。増減比較のため、2024年度実績を変更後の区分に組み替えて表記しております。

用途別売上収益概況 [2024年度4Q→2025年度1Q]

通信 (直前四半期比▲ 7. 1%)	▲ スマートフォン向けで高周波モジュールや樹脂多層基板が減少
モビリティ (直前四半期比+ 2. 5%)	○ 自動車向けでコンデンサが増加
コンピュータ (直前四半期比+ 1 8. 5%)	○ サーバー向けでコンデンサが増加
家電 (直前四半期比+ 5. 9%)	○ AV機器向けでリチウムイオン二次電池が増加 ○ パワーツール向けでリチウムイオン二次電池が増加
産業・その他 (直前四半期比▲ 1. 5%)	▲ 産業機器向けで電源モジュールが減少

(注) 当社推計値に基づいております。なお、2025年度よりビジネスの実態に合わせて用途別の売上収益区分の集計範囲を変更しております。
増減比較のため、2024年度実績を変更後の区分に組み替えて表記しております。

利益変動要因 [2024年度4Q→2025年度1Q]

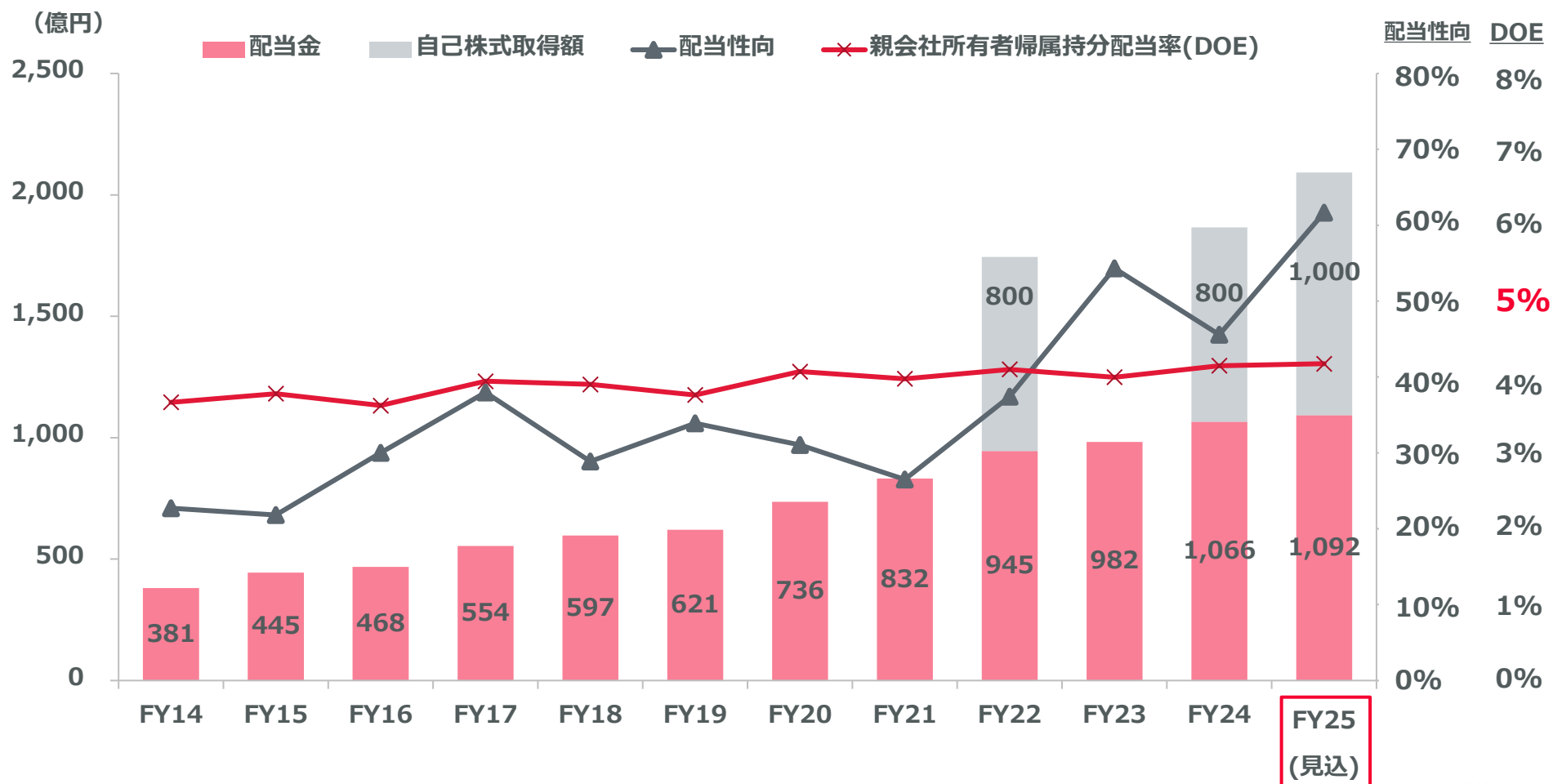


※操業度損益は売価値下げ・為替変動の影響を除いた生産高をもとに計算しております。

※その他(品種構成差他)には、2024年度 第4四半期に発生した一時費用の影響が含まれております。

株主還元推移

- 2025年度は前年度比3円増配の1株当たり年間60円の配当金を予定。また、1,000億円を上限とする自己株式取得を実行中。2025年6月末時点で374億円分の自己株式を取得済み。
- 中期的にDOE 5%を目安に引き上げ、安定的な配当の実現を目指す。



四半期別財務データ_連結業績

	2024年度				(億円) 2025年度
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
売上収益	4,217	4,618	4,480	4,119	4,162
営業利益	664	918	760	455	616
税引前利益	836	805	1,045	358	623
親会社の所有者に 帰属する当期利益	664	640	710	325	497
設備投資	417	430	448	510	347
減価償却費	424	428	436	445	420
研究開発費	379	357	363	394	398
対ドルレート(円)	155.89	149.36	152.44	152.61	144.60

四半期別財務データ_売上収益

		(億円)				
		2024年度				2025年度
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
事業別セグメント売上収益	コンデンサ	2,033	2,140	2,131	2,014	2,173
	インダクタ・EMIフィルタ	483	528	515	487	525
	コンポーネント 計	2,516	2,668	2,646	2,502	2,698
	高周波・通信	993	1,263	1,209	971	821
	エナジー・パワー	426	411	347	374	358
	機能デバイス	252	240	245	241	248
	デバイス・モジュール 計	1,672	1,914	1,801	1,585	1,426
	その他	29	36	34	32	37
	売上収益計	4,217	4,618	4,480	4,119	4,162
用途別売上収益	通信	1,549	1,913	1,798	1,481	1,376
	モビリティ	1,150	1,126	1,146	1,106	1,133
	コンピュータ	572	643	611	590	700
	家電	390	365	323	348	368
	産業・その他	557	571	601	593	585
	売上収益計	4,217	4,618	4,480	4,119	4,162

(注) 2025年度よりビジネスの実態に合わせて用途別の売上収益区分の集計範囲を変更しております。
増減比較のため、2024年度実績を変更後の区分に組み替えて表記しております。

四半期別財務データ_セグメント情報

(億円)

		2024年度				2025年度
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
コンポーネント	売上収益	2,543	2,698	2,674	2,525	2,740
	営業利益	737	768	688	559	712
	営業利益率	29.0%	28.5%	25.7%	22.1%	26.0%
デバイス ・モジュール	売上収益	1,672	1,914	1,801	1,585	1,426
	営業利益	▲61	157	84	▲80	▲80
	営業利益率	▲3.7%	8.2%	4.7%	▲5.1%	▲5.6%
その他	売上収益	154	165	182	172	172
	営業利益	▲12	▲8	▲12	▲23	▲15
	営業利益率	▲7.5%	▲4.7%	▲6.7%	▲13.3%	▲8.9%
消去	売上収益	▲152	▲159	▲176	▲164	▲177
連結	売上収益	4,217	4,618	4,480	4,119	4,162
	営業利益	664	918	760	455	616
	営業利益率	15.7%	19.9%	17.0%	11.1%	14.8%

muRata

INNOVATOR IN ELECTRONICS